

留学生就職促進プログラム 中間評価所見

大学名：愛媛大学

○「留学生就職促進プログラム委員会」における所見

1. 全体の進捗状況、取組と就職率向上の見通し
○概ね計画通りの取組である。

全般的に計画通りに進捗しており、国内企業等に就職した人数及び就職率は当初計画を上回っている。

2. プログラムの内容の進捗状況
○概ね計画通りの取組である。

日本国内での就職促進に向け、1年次からの「履修モデル（プログラム開講授業）」が留学生にとっても分かりやすいものとなっている。また、インターンシップは、連携企業数（サポート協力企業数）も順調に増加している。参加している経済団体を巻き込んだキャリア教育プログラムは、留学生と地域企業の経営層との良い接点となっていると考えられ、今後も実績に繋がることを期待する。

3. 実施体制の構築、活動状況
○概ね計画通りの取組である。

コンソーシアムの体制整備とともに、行政と経済団体との連携が強化され、コーディネーターの役割、体制整備などが図られている。

今後は、コンテンツの維持や財政的な見通しを立てつつ、一層の効果・実績に繋がることを期待するが、委託期間終了後の体制として、多層構造となっているコンソーシアム内の現体制を維持するのか、検討が必要である。

4. 他大学が参考にできる事項等

- 日本人学生と留学生が合同で参加するインターンシップの実施体制は、外国人材の受け入れ経験の少ない企業にとっても受け入れに係る負担の軽減に資する。
- 地（知）の拠点事業で培った実施主体を土台に、留学生のみならず、特定技能外国人なども含めて、県全体で連携して取り組んでいることは、大学－行政－企業が協働する体制の構築として評価に値する。